

## 航空運賃低減等、国境離島住民の定住条件の整備を求める要請決議

石垣市を中心とする八重山諸島は、沖縄県の中のさらに離島であり、台湾や中華人民共和国との国境という地理的条件に位置しています。そのような環境で生活している当市及び八重山圏域住民は、日本本土や沖縄本島で生活する国民と同じような恩恵を享受できず、医療・福祉・経済・教育あらゆる面での生活環境において不利益な条件の下で生活をしています。

特に、高額な航空運賃は、沖縄本島及び日本本土への唯一の交通手段として航空路に頼らざるを得ない八重山圏域住民に、生活面や経済面で多大な負担を与えています。

そのような中、平成23年9月、同じ先島圏域である宮古島と沖縄本島を結ぶ航空路線に、低価格の航空運賃で航空運送事業を行うスカイマーク社が就航した結果、既存の航空運送事業者も多様かつ大幅な割引運賃を設定し、宮古島と沖縄本島を結ぶ航空路線の運賃は、全体的に利用しやすい低価格の運賃体系となっており、同じ離島という生活環境でありながら宮古島住民の生活環境と八重山圏域住民の生活環境に大きな格差が生じています。

よって、国及び沖縄県においては当市の地理的要因、経済的特殊事情を勘案していただき、国境離島住民が安心して住み続けることのできる定住条件の整備として下記事項の早期実現を図るよう強く要請いたします。

### 記

1. 航空運賃低減に向けた、石垣空港離発着便における那覇空港と同様の航空機燃料税の軽減及び着陸料の更なる軽減等の減免支援制度の強化
2. がん患者を含む高度医療を必要とする住民を対象とした航空運賃助成制度の確立
3. 各種スポーツ大会や文化系大会への児童・生徒の派遣費助成制度の確立強化

以上、決議する。

平成23年12月27日

沖縄県石垣市議会

あて先

内閣総理大臣 内閣官房長官 国土交通大臣 沖縄及び北方対策担当大臣  
県選出国會議員 沖縄県知事 沖縄県議会議長 地元選出県議會議員